

科目	在宅看護演習				
時間数	1単位 26時間	授業方法	講義	授業時期	2年
講師名	①高橋美由紀 ③藤田景子				
実務経験	①保健師 ③看護師 (医療機関等)				
ねらい	地域で生活する健康問題や障害のある人とその家族を支えるケアシステムにおける訪問看護の特性を理解し、活動に必要な基礎的な知識と技術を習得する。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問看護の特性が理解できる。 2. 訪問看護における日常生活援助の技術が理解できる。 3. 訪問看護における医療処置援助の技術が理解できる。 4. 在宅看護の特性を踏まえて看護過程を展開することができる。 				
授業計画					
回	内容				
1～6	初回訪問				
7～13	生活支援の方法 (1)在宅における介護用品の工夫 (2)清潔への援助				
	生活支援の方法				
評価方法	<p>その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。</p> <p>各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して100点満点で評価する。</p> <p>60点以上を及第点とする。</p>				
教科書	<p>在宅看護論:医学書院</p> <p>ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア:メディカ出版</p>				